

平成30年度総合計画推進委員会審議結果

1 第5期総合計画重点施策

重点項目1 産業の振興と雇用の場が広がるまちづくり

【音更の魅力の活用、PR】

- ガーデンスパ十勝川温泉のイベントなどは子どもでも喜びそうな内容だが、開催されているのを知らなかった。幼稚園や保育園に広告を配布するなどして周知を行えば、より多くの参加が期待できるのではないか。

重点項目2 環境への負荷が少ないまちづくり

【交流人口の増加に向けた観光振興事業の推進】

- 音更町の観光入込客数が大きく増加しているのは、外国人宿泊客の増加が主な要因となっている。一方で、新千歳空港の来道者数に目を向けると音更町における観光客の伸び率を大きく上回っていることから、多くの人が道央と道南の観光に留まっている現状がある。このことから、道東、十勝、音更町に観光客を呼び込むための2次交通対策が求められるため、国や道とも連携しながら進めていく必要がある。

重点項目3 誰もが安全で快適に過ごせるまちづくり

【公営住宅の整備、維持管理】

- 経済的に弱い立場にある人たちが、柳町団地などの公営住宅の建替えによって家賃上昇分の支払いに応じることができない場合でも生活していくことができるよう対策を考えてほしい。

重点項目4 生涯を通して学べるまちづくり

【推進体制、人材の確保】

- 帯広大谷短期大学では、社会教育主事課程の社会教育実習において帯広市と放課後子ども教室の提携を結び、今では10年以上にわたる関わりができています。

音更町に所在する短大なので、可能であれば、徐々に検討を進めていく形で構わないので、音更町内の小学校において学生たちが子どもの居場所作りに関われるような仕組みを考えていただきたい。

重点項目 5 地域ぐるみで子どもを育てるまちづくり

【学習機会の拡充、活動の支援】

- 帯広大谷短期大学では、学生たちの博物館実習の授業において郷土資料室の資料整理のお手伝いをしているが、確認作業も完了しつつある。今後は分室にある資料についても正課の実習として学生たちが整理作業を行うことができれば、短大としては学生たちの学習効果を得ることができ、町としても資料の増加分の台帳整備ができるのではないかと考えているため、両者が協力しながら検討を進めてほしい。

- 郷土資料室において、高齢者大学の郷土研究部で学ばれたOB・OGの方たちがボランティアの解説員として常駐していただけるスペースとして机・椅子などを設置すれば、いつでも解説を受けることができるようになるため、来館者増への呼び水となるのではないかと考えている。来館者対応がない時間帯についても、チラシやポスター作りなど様々なアイデアを出してもらおうようにしてはどうか。

- 郷土資料室への資料の寄付については、開館当初はある程度の数があったものの、最近ではなくなってきているということだが、町民の方が所有している昔の町にまつわる写真を提供いただければ、資料の蓄積につながるのではないかと考えている。また、図書館においても同様のことが言えると思う。デジタル化してパソコンに取り込めば劣化しないように保存できるし、ボランティアの方たちの力を借りることもできると思われるため、検討いただきたい。

重点項目 6 誰もが安心して暮らせるまちづくり

【在宅・施設サービスの充実】

- 地域包括ケアシステムの推進に関し、他の町村と比較して医療・介護の連携推進協議会の発足が遅かったように感じている。今後は、会長を中心とした組織体制の中でスピード感をもって連携の推進を図ってほしい。

重点項目 7 情報の共有を進め参加の輪が広がるまちづくり

【広報紙の充実】

- 音更町に住むようになってからしばらく経つまで広報紙の存在に気づかず、コンビニエンスストアに置いてあるのを見て初めて知った。所属している町内会の事情や加入状況などに

もよるが、重要な行政情報等も掲載されているにも関わらず、目にする機会を逃している方もいるように思うので、町民の手元へ確実に届くための工夫をしてほしい。

【ホームページの充実、インターネットの活用】

- ホームページは重要な情報発信手段であることから、積極的なリニューアルと更新対応をお願いしたい。町の情報を広く住民に発信していただきたい。

2 音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策

施策 観光による交流人口の拡大

※ 上述の **重点項目 2** 【交流人口の増加に向けた観光振興事業の推進】 に記載の意見と同じ

施策 移住や定住の促進

施策 出産と子育てを支援する環境づくり

- 子育て世帯を呼び込むために補助制度の拡充も必要ではないか。何も対策を講じなければ今後は音更町の人口が流出してしまう可能性が高い。周辺自治体の支援策とも比較しながらきちんと人口を維持していけるような対策が必要になってくる。
- 音更町で新しく住宅を建てたいという知人が土地を取得できないため帯広市に転出してしまった。また、本来であれば子育てするにあたって慣れ親しんだ環境が整っている音更に住み続けたかったが同様の理由で転出した知人もいる。町内で空き地や空き家があれば町で更地にするなどの対策を講じてほしい。

施策 老後も不安が生じない生活環境づくり

※ 上述の **重点項目 6** 【在宅・施設サービスの充実】 に記載の意見と同じ

3 その他の意見

- まちづくり町民アンケートについては、集計結果において下がり続けている満足度や重要度の数値に対し、設問の項目を細分化するなどして要因を分析していくことが必要ではないか。同じ質問のみ繰り返し行っても施策の改善を図ることはできないように思う。